



もりのこだより

平成30年2月号

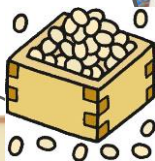


地域の皆様こんにちは！日頃より大変お世話になっております。

立春とは名ばかりの厳しい寒さが続いておりますが皆様いかがお過ごしですか？

先日だるま市の前日に見学に行ってきました。今年は、保育園の子ども達で作った、かわいい木の人形も飾っていただきました。（この人形は裏山から切り出してきたくぬぎの木を斜めに切り、拾ってきたどんぐりやマツボックリ、ドライフラワーなどを使って製作しました。）

今年度は保護者会理事の皆様と一緒に味噌づくりに挑戦しました。種まきから収穫、脱穀までやり、大豆を茹でてつぶし塩こうじと混ぜて、桶に仕込みました。手間暇をかけて手作りで、食への関心が高まってくれると思います。この味噌は8月の夏祭りの豚汁に入れて食べる予定です。



今年度、全国学校・園庭ビオトープコンクール2017において、日本生態系協会賞を受賞しました。奥高遠の豊かな自然環境を認めていただきました。これからも信州やま保育認定園として、大自然の中でのびのび遊び「生きる力」の基礎を育てていきますのでよろしくお願いいたします。



高遠第2・第3保育園からこんにちは

もちつきをしました。

1月・水上長生会の皆様の御協力をいただき、お餅つきをしました。

蒸されたもち米の香りをかいだり餅つきの音に合わせて「ヨイショ！ヨイショ！」と声をかけたりしました。とってもおいしいお餅ができあがり、みんなで一緒に食べました。



そりあそび！



1月・国立信州青少年の家のソリ遊びに親子で行ってきました。2人乗りや正座乗りなどいろいろな滑り方で楽しむことができました。保育園の裏山にもソリコースがあり、2月になってようやく雪がたくさん降ったので、毎日遊ぶことができました。



寒い冬でも山の中の探検に出かけます。今日は自然観察指導員の方の案内で発見がいっぱいでした。



毎年恒例の『すもう大会』が行われました。四股名をつけ、四股をふみ、「はっけよいのこった！」応援にも力が入ります。